

移住者 Interview



常にやりたいことを貫く姿勢というのは、強い信念が必要です。「それやりたいです。やらせてください。」と言える勇氣は年齢関係なく、いつも持っていたいものです。きっとそれが人生を楽しく生き生きとさせてくれるでしょう。

オーガニックの世界観に魅了され、東京都文京区から小川町に移住してきた八田さと子さん。少しでも自給的暮らしを実践したいと思い、単身で移住を決めてから早6年。そんな彼女がこの地域で生き生きと暮らせる理由やどうして単身で移住を決めたかなどについてお話をうかがいました。

オーガニックを追い続けて出会った気の合う仲間

移住する前は東京で有機農業関係の仕事をしていました。大学卒業後に就いたオーガニック製品の専門流通の仕事では、農家さんとイベントを開催したり、消費者に紙面で野菜や農家さんの情報を伝える仕事をしていました。環境NGOへの転職後は、有機農業に関する調査事業を手掛けたり、毎日忙しく働いていました。流通の仕事でも、NGOの仕事でも農家さんとかかわりがあり農家さんと直接話しをさせていたたく

共有する、そんな温かいまちです。日常の中の小さな幸せをみんなで見かち合っつて素敵じゃないですか？

いつでも東京に戻れる場所が小川町

「移住」と聞くと重く受け止めてしまいう方もいるかと思いますが、小川町は決して東京から離れている場所ではありません。仕事や友達付き合いの面でも東京とのつながりを保てる距離です。やっぱり小川じゃ物足りないと思ったら、いつでも東京に行ける、または戻れる距離感だと思います。ぜひ一度この町に来てもらえたらなと思います。常に自然に囲まれたこの地域は、都心にはない温かみや安心がたくさんあります。みなさんの肌で感じ取ってもらえたらと思います。

八田さと子さん
埼玉県小川町在住。
お連れ合いとお子さんの3人家族。自給的暮らしを目指しながらまちづくり、オーガニックに関わる仕事をしている。



いるので、たまにおすそ分けをいただいています。無農薬の野菜は安心して食べられますし、何よりも旬の一番おいしいものが低価格で食べられるというのは、とても贅沢なことだなと思います。

こうした食べ物も土からできますし、作った人が身近にいてコミュニティが取れるということは東京ではとても出来ない事でした。この安心は小川町に移住したからこそ得られる安心です。

大きな虹をみんなで見られる温かさ

小川町は一言でいえばコンパクトな田舎です。大抵のジャンルの店がある(ボーリング場もあるんですよ！)、でも山や川、自然が身近にある・・・また、田舎ならではの自治会、近所つきあいも都市部よりも機能しています。人口は都市部に比べて少ないのに子育てをしても多くの方に声をかけていただきます。また大きな虹が出ていたときに、「虹が出ているよ」と散歩していた「近所の方がわざわざ家まで知らせに来てくださいます・・・(笑)」。みんなできれいだねと言いながら感動を共有したことがあります。都市部に暮らしていて、近所つきあひもなければ、普通大きな虹が出ていても、そういう行動にすることはないですよ。小川町は虹の美しさも

る地域にいつか関わりたいと思っていました「お手伝いさせてください」と志願し、小川町の有機農家さんとお仕事をさせていただくことになりました。その出会いはとても大きかったです。文京区と小川町を行ったりきたりする中で、同世代の価値観の近い友人が複数できました。さらに小川町の諸先輩方も交流の機会がでいいよいよ、小川町が楽しくなっていたのです。NGOに転職した時から、いずれ地域に入ると決めていましたので、小川ならこれから先、この仲間と一緒に楽しく暮らせるんじゃないかと思ったんです。

そして、2010年単身移住してきました。小川町では有機農業者が多いので、有機農産物が手に入りやすく、さらに、小さな町にもかかわらず自然食品店もあるので、手軽に安心できる食べ物を入手することができます。子どもにも食の安全という面では気を使っているの、とても助かっています。

土が身近にあるってとても安心するんです

「有機農業」というキーワードで同じような価値観の知り合いが増えたことは非常に嬉しく、移住を決めてよかったと思います。また私自身も畑でさまざまな野菜を栽培していますが、ほかの方々も野菜を作って

常に自然なものに囲まれる安心感がある

こともたびたびありました。そのうちに持続可能な社会、農ある暮らしを思い描いたり、その価値を人に伝えるだけでなく自分でも実践したいという気持ちになりました。

また、農家さんも含め、共に暮らす地域の仕組みづくりも重要なことと考えるようになり、まちづくりに関心を持ちました。環境NGOの職員を辞めた際ちょうど、有機農業推進法に基づく国の事業を展開するNPO法人がたまたま自宅の目の前に事務所を構えました。このNPOの門をたたいた時、私の人生は大きく変わりましたね。

さまざまなお縁があり、ある日、NPOの代表でもある小川町の有機農家金子美登さんから小川町でも有機農業のモデルタウンとして国の事業をやっている、その事務局を手伝ってくれる人を探していると聞きました。全国的、世界的な視野で有機農業をとらえる仕事もやりがいがありました。有機農業の現場であ

